

令和6年度事業報告書

自 令和6(2024)年4月1日

至 令和7(2025)年3月31日

【主要項目】

- I. 商業施設及び商業施設技術に関する調査・研究及び情報・資料の収集及び提供
- II. 商業施設及び商業施設技術者の業務に関する基準の策定・普及と、商業施設技術者の教育・認定
- III. コンテスト事業
- IV. 就業支援のための情報提供事業
- V. その他商業施設技術に関連する事業

【主要な事業】

I. 商業施設及び商業施設技術に関する調査・研究及び情報・資料の収集及び提供

1. 技術教書の刊行事業

本会発刊の基本教書（技術教書）である「商業施設・創造とデザイン」については、主に、商業施設士資格試験・学科試験の参考書として、また、商業施設士補資格講習会の講習テキストとして活用・使用されている。こちらについては担当委員会において永年編纂作業を進め、本年6月に新改訂版「商業施設士 資格試験テキスト／商業施設・創造とデザイン」として発刊した。

2. 情報誌の刊行事業

商業施設及び商業施設技術に関する内容構成とし、商業施設士資格者をはじめ各方面の関係機関にも頒布している、情報誌・機関誌「商業施設」を、年間6回（偶数月5日発行／4月号・6月号・8月号・10月号・12月号・2月号）刊行した。

3. インターネットによる情報提供事業

本会ホームページを活用して、資格試験案内（願書の無料ダウンロード）や研修会案内、書籍案内、学生デザインコンペ関連などの情報提供を行った。

また、トップページの写真・レイアウトの変更等も随時行った。

4. 機関協力事業

行政における専門アドバイザー（商業施設士）派遣事業制度等については、本年度においては、派遣の実績はなかったが、日本商業施設士会と連携をおこない、適宜派遣を行える体制を整えている。

また、本年度においても会員・関係機関が主催するイベント事業に対し、それぞれ後援および協賛を行った。

5. 研究及び提言事業

本年度においても機関誌「商業施設」を通じて、みせづくり・まちづくりの研究・考察について掲載するとともに情報等を発信した。

II. 商業施設及び商業施設技術者の業務に関する基準の策定・普及と、商業施設技術者の教育・認定

1. 資格認定事業

(1) 商業施設士資格試験の実施

本年度の商業施設士資格試験を以下の内容等により実施した。

前期・実施日：令和6年6月16日

同・実施地：5都市8会場

後期・実施日：令和6年12月8日

同・実施地：3都市4会場

受験者数計：345名

合格者数計：238名

合否発表：令和6年7月17日〔前期〕及び令和7年1月28日〔後期〕

2. 資格登録事業

資格試験合格者の資格登録事務及び有資格者の資格登録更新事務をそれぞれ行った。

なお、資格登録更新者のうち、「シニア商業施設士」対象者においてはその通知と登録事務を、また「マイスター商業施設士」認定者においてもその登録事務をそれぞれ行った。

3. 士補資格認定事業

商業施設に関連する、建築系・インテリア系・デザイン系等の教育機関を対象とした、「商業施設士(補)資格制度に係る商業施設関連課程の認定校制度(=「認定校制度」)」において、その認定校の指定された商業施設関連課程を履修した学生を対象として商業施設士補資格認定のための講習会を全国各地で実施した。

エリア開催：18会場。学校単独開催：10(校)会場。認定者：1,018名。

4. 教育・支援事業

商業施設士(補)資格制度に係る認定校制度をもとに、商業施設技術に関する教育内容を指南するとともに、同認定校の拡大拡充を図った。なお、現在の認定校計は170校239課程である。

また、教育・支援の一環として、学業成績、就学態度ともに優秀な者に対して、本会会長賞の贈呈を行った。54校・63名。

5. 研修会事業

(1) 資格試験講座(エリア開催)

①設計製図講座

令和6年5月25日 大 阪 (大阪府社会福祉会館)

令和6年5月26日 東 京 (建築会館)

②学科講座

令和6年6月1日 大 阪 (大阪府社会福祉会館)

令和6年6月2日 東 京 (建築会館)

(2) 資格試験講座(認定校開催)

①関東圏・14校、②東海圏・3校、③関西圏・3校

(3) 「みせ・商い」・塾／プロ養成コース

商業施設または商業施設技術に係る仕事に5年以上従事した者を対象に、商業施設技術の基礎知識についての講習会を仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の6都市で開催した。

講習カリキュラムについては、①「商業の歴史と商業施設の概要」、②「商業施設の開発と計画」、③「商業施設の監理と制作・施工」、④「商業施設の維持管理と安全対策、関連法規」の4講義で編成され、本年6月に発刊した「商業施設士 資格試験テキスト／商業施設・創造とデザイン」をもとに講義を行った。

(4) 「みせ・商い」・塾

「みせ・商い」・塾 については、新資格者を主な対象として、資格者相互の交流と研修を図ることを目的に、そのカリキュラム構成等の協議を行った。なお、実施については令和7年5月頃を予定している。

Ⅲ. コンテスト事業

毎年開催をし、商業施設技術者の教育と商業施設技術の向上を目的とした、第22回主張する「みせ」学生デザインコンペを実施した。

応募作品の形式：「A2サイズスチレンボード」に、あなたが思う“主張する「みせ」”を表現し、主旨書（コンセプト）を添付

応募期間：令和6年11月1日～11月29日（告知：令和6年7月）

応募作品数：349点

審査発表：令和6年12月25日（審査：12月9日・19日）

受 賞：最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞10点、奨励賞20点、高校生部門賞1点

作品展示：令和7年1月15日～1月17日 / 建築会館・ギャラリー

表彰式／懇親会：令和7年1月17日 / 専売ビル 8階ホール

Ⅳ. 就業支援のための情報提供事業

1. 会社情報提供事業

認定校をはじめとする全国の大学等の教育機関へ、商業施設関連業界の会社情報（求人

情報を含む) の発信のための内容を協議し関係機関への協力を要請した。

2. インターンシップ促進事業

上記、会社情報提供事業とともに、商業施設関連業界のインターンシップ情報の提供の検討を行った。

V. その他商業施設技術に関連する事業

会員・関係機関が主催するイベント事業に対し、それぞれ後援及び協賛を行った。

- ① 昭和フロント(株)主催
「第55回 ストアフロントコンクール」を協賛
- ② (株)LIXIL主催
「LIXILフロントコンテスト」を協賛
- ③ 国土交通省主催
「第36回 まちづくり月間」を協賛
- ④ 国土交通省主催
「令和6年度 住生活月間」を協賛
- ⑤ (公社)日本サインデザイン協会主催
「第58回 日本サインデザイン賞」を後援
- ⑥ (一社)日本ショッピングセンター協会主催
「第49回日本ショッピングセンター全国大会」を協賛
- ⑦ (公社)日本インテリアデザイナー協会主催
「World Interiors Week 2024 in Japan」を後援
- ⑧ (公社)日本インテリアデザイナー協会主催
「USD-0 モノ・空間デザイン学生・クリエイターエキシビジョン&デザイカンファレンスフォーラム」を後援
- ⑨ 日本経済新聞社主催
「JAPAN SHOP 2025」を後援
- ⑩ 日本経済新聞社主催
「フランチャイズ・ショー2025」を後援

付 記

令和6年度理事会開催状況

第1回：令和6年5月11日／建築会館、オンライン (Zoom)

令和5年度事業報告書(案)・同収支計算書(案)、および代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

第2回：令和6年7月10日／建築会館、オンライン (Zoom)

前回理事会以降の事業・事務報告、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

第3回：令和6年10月8日／建築会館、オンライン (Zoom)

令和6年度中間事業報告、同下期事業計画等、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

第4回：令和7年1月29日／建築会館、オンライン (Zoom)

前回理事会以降の事業・事務報告、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

第5回：令和7年3月19日／建築会館、オンライン (Zoom)

令和6年度事業報告・同収支計算、令和7年度事業計画書(案)・同収支予算書(案)、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告、役員改選について

■商業施設士 資格試験

[前期]

仙 台 (みやぎ婦人会館)	11 名
東 京 (専売ビル／全国家電会館 日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校)	200 名
名古屋 (桜華会館)	40 名
大 阪 (大阪府社会福社会館)	48 名
福 岡 (リファレンス 駅東ビル)	2 名

[後期]

東 京 (駐健保会館／東京都市大学)	33 名
大 阪 (たかつガーデン)	11 名
合計	345 名

■商業施設士補 資格講習会

令和 6 年	9 月 17 日	大 阪 (修成建設専門学校)	25 名
	10 月 19 日	東 京 (全国家電会館)	142 名
	10 月 19 日	金 沢 (石川県文教会館)	13 名
	10 月 19 日	熊 本 (くまもと森都心プラザ)	8 名
	10 月 20 日	名古屋 (名古屋国際会議場)	100 名
	10 月 20 日	鹿児島 (鹿児島県文化センター)	36 名
	10 月 26 日	大 阪 (大阪府社会福社会館)	128 名
	10 月 26 日	東 京 (林野会館)	27 名
	11 月 2 日	東 京 (青山製図専門学校)	66 名
	11 月 9 日	仙 台 (戦災復興記念館)	84 名
	11 月 9 日	東 京 (東京都市大学)	93 名
	11 月 10 日	前 橋 (前橋文化ホール)	14 名
	11 月 10 日	福 岡 (リファレンス 駅東ビル)	17 名
	11 月 11 日	大 分 (日本文理大学)	9 名
	11 月 16 日	札 幌 (道特会館)	16 名
	11 月 17 日	東 京 (ICS カレッジオブアーツ)	23 名
	12 月 7 日	広 島 (広島工業大学)	15 名
	12 月 21 日	神奈川 (浅野工学専門学校)	4 名
令和 7 年	2 月 15 日	東 京 (専売ビル)	87 名
	2 月 16 日	仙 台 (フォレスト仙台)	44 名
	2 月 19 日	八 戸 (八戸工業大学)	23 名
	2 月 22 日	大 阪 (大阪府社会福社会館)	53 名
	3 月 1 日	名古屋 (桜華会館)	45 名
	3 月 2 日	東 京 (専売ビル)	44 名
	3 月 25 日	東 京 (日本工学院八王子専門学校)	42 名
		合計	1,158 名

■商業施設士 特別資格講習会

仙 台 (みやぎ婦人会館)	10 名
東 京 (全国家電会館)	49 名
名古屋 (桜華会館)	21 名
大 阪 (大阪府社会福社会館)	50 名
広 島 (広島オフィスセンター)	6 名
福 岡 (リファレンス 駅東ビル)	2 名

合計 138 名

■第22回 主張する「みせ」学生デザインコンペ

受賞 (上位賞のみ)

最優秀賞 HWANG YOUNGSEOK (東京工芸大学)
優秀賞 神藤 一器 (秋田県立大学)
黒田 翔 (日本文理大学)
丹羽 優尋 (トライデントデザイン専門学校)
廣間 信哉 (名古屋モード学園)

審査員

豊口 協 長岡造形大学 前理事長
柘植 喜治 千葉大学 名誉教授
小坂 竜 乃村工芸社A. N. D チーフデザインオフィサー
万井 純 丹青社 デザインセンター 商空間デザイン局 シニアエキスパート
橋爪 紳也 商業施設技術団体連合会 会長/大阪公立大学 研究推進機構 特別教授

協賛

株式会社 乃村工芸社
株式会社 丹青社
株式会社 トーガシ
株式会社 つむら工芸
株式会社 スペース